

もしもの時に行動に移すために

中泊町地震津波避難訓練が行われる

県では11月5日から11月24日までを「防災ウィーク」として、県下一斉の訓練や防災に取り組む期間としています。

その防災ウィークに合わせ、11月15日(金)に中泊町地震津波避難訓練(シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設訓練)が行われました。

シェイクアウト訓練とは、地震に備え、決まった時間に各自が家庭・職場・学校などで一斉にテーブルの下などに入ったり、窓際から離れたりするなどの体を守る行動を行う訓練のことで、今回は県全体で一斉に行われました。

町内の各学校や役場庁舎内でも行い、地震の警報が出たときにとるべき行動を再確認しました。



また、小泊地域では大津波警報が発表された想定で津波避難訓練と避難所開設訓練が行われ、小泊地域の町民約200名が参加しました。

津波避難訓練では、こちらから避難場所を指定せず、町民それぞれが自分で避難場所を考え、避難し、その後のこどもり学園で行われた避難所開設訓練では、段ボールベッドやパーティションの設営、アルファ化米の試食などを行いました。

